

2015 SUPER GT 開幕戦 "OKAYAMA GT 300km RACE"

POLE to WIN!



雨が降ったりやんだり難しいコンディションの中、
アンドレア・カルダレツリと平川亮の若手コンビのドライブで
#37 KeePer TOM'S RC Fが2年連続で岡山での開幕戦を制した。



バーは部品ともいえます。でもインテ
ープロトシリーズは、車はワンメイク、
みんな同じ。ドライバーの技術や能
力が勝負を分けます。選手の本当の
能力が発揮されます。パドックに入
るのに特別料金を払わなくてもいい
し、スーパーカーに同乗できたりもす
るので、レースを身近に感じられて、
初心者にも面白いと思います。

平川：昨年のバトルも面白かったで
すし、車は同じものを使っているの
で、ドライバー本位の競争という意
味では言い訳はできないですが、気
合いは入ります。5/17(日)には、
SUPER GT第1戦のチャンピオン
と第2戦のチャンピオンとなった僕が
対決します。レクサスRCFでもなく、
GT-Rでもなく同じ車でロニー・ク
インタレツリとのバトルを観ることが
できるのは、観る側にとっても面白い
んじゃないかな。盛り上がると思いな
と思っています。

中山：自分がチャンピオンを獲得つも
りでももちろんレースに臨みます。昨年
の最終戦ではクインタレツリ選手もだ
んだんとマシンに慣れてきて僕らと同
じペースで走るようになってしまし
た。それまでは僕と平川と2人でのバ
トルが続いていたけど、クインタレツ
リ選手とか高星選手などによってレベ
ルがぐんと上がってくると思います。
3台、4台とバトルが繰り広げられ
、お客さんも楽しめると思います。

Q レース界では「速い車は美しい」
という言葉があるそうですが、
どういう意味なんですか？

関谷：メカニックが愛を込めて整備を
しているかどうかでことだね。整
備工場が汚いという仕事はできない。
車をキレイにしておくのはスポンサー
のためにも大事だね。

カルダレツリ：SUPER GTの37号
車「KeePer TOM'S RC F」と36号車
「PETRONAS TOM'S RC F」にもキーバ
ーコーティングがかけてあるけど、や
っぱり他よりもキレイだね。空気抵抗
が減って速くなると思うよ(笑)！
実は僕、以前に研修を受けて、キーバ
ーコーティング技術資格2級を持って
います。そのときにキーパーコーティ
ングをやるのとやらないのではものす
ごく違うことに感動したよ。イタリア
で僕はNXに乗っているけど、イタリ
アの洗車はすごくひどいし、コーティ
ングもないんだ。日本に持ってきてコ
ーティングしてもらいたいくらいだよ。

平川：レース中に付いた汚れも落ち
やすいんじゃないかな。僕が普段乗
っている車にもダブルダイヤモンド
キーパーをやってもらっているんだ
けど、やっぱり汚れがつきにくいし、
水洗いだけですぐに落ちるから。

中山：僕は以前、ガソリンスタンド
でアルバイトしたことがあるんです。
キーパーコーティングの講習を受けた
方がいてよく手伝っていました。最初

にもともと塗られていたコーティング
とか油膜を落とすと、水が玉になら
ないでベターっと広がるんです。そこ
にコーティングをかけるで一気に入玉に
なってポロポロポロ落ちてくるのがす
ごく好きで、よくやらせてもらって
ました(笑)。気持ちよく撥水するか
ら雨の日が好きになりましたね。

Q 最後にSUPER GT第2戦を終
えて、今後どう戦っていきますか？

平川：もちろんチャンピオンを獲りま
す。ウエイトハンデを積むと、プレ
キ性能とかコーナリング性能とか落
ちるので、それを頭に入れ、的確な判
断をしながら走りたいです。最終戦ま
でなるべくたくさんのポイントをもぎ
取って、ミス減らし、チャンピオン
争いできる位置にいたいと思います。

中山：今年のGT300のプリウスは
チャンピオンを獲得するパフォーマンス
があると思います。開幕戦は優勝し、
第2戦もポイントを獲得しているので、
チャンピオンに向けて着実に進んでい
っていると思います。トラブルが多い
車ではあるけれど、最後まで走り切れ
れば、確実にチャンピオンを獲得する車
なので頑張っていきたいと思っています。
カルダレツリ：優勝できるように頑張
ります。もちろん現状では重い分、戦
闘力は劣っていますが、その中でベス
トを尽くしてポイントを取れるよう
ドライバー、メカニック、エンジニア
全員の力を合わせて攻めていきます。

【開幕戦】 シリーズ制覇へ向け好発進！ 昨年に続いて開幕戦優勝!!

2015年4月4日、今年もスーパー
GTシリーズが幕を開けた。開幕戦の舞
台は岡山国際サーキット。37号車
「KeePer TOM'S RC F」のハンドルを握
るのは参戦4年目のアンドレア・カルダレ
ツリと、初のレギュラードライバーを務める
平川亮のコンビだ。

開幕戦は全チームがノーハントイのガ
チ勝負。そんな中、予選1ではカルダ
レツリが安定の走行で4位通過。そして
続く予選2で平川が大仕事をやってのけ
る。4周目に1分19秒008という驚異
的なタイムで岡山国際サーキットのコース
レコードを記録。ルーキーながらポールポ
ジションを獲得したのだ。

決勝ではポールポジションの強みを活か
して、序盤からカルダレツリが快調な走行
を見せる。9周目には2位との差を大き
く広げてリード。しかし路面が徐々に乾き
始める。生乾きの路面に強いミニラン
タイヤの1号車に首位を奪われる。その
後は15号車、100号車のNSX勢も
交えて激しいトップ争いを展開。そして41
周でスタートした37号車は、カルダレツリ
から平川にドライバーをチェンジ。

5位でコース復帰した平川は100号
車の前でコースイン。実際のトップだ。しか
し、NSX勢は乾き始めた路面での速さ
が際立ち、48周目には100号車に首位
を譲る。しかしピット内に重い空気が流れ
始めた矢先、再び雨が降り始めて路面は
スリッピーに。そこからは平川が猛追。
100号車とのタイム差を徐々に詰め、
三たびトップに躍り出るとその後も責め
続け、気づけば2位と42秒差をつけて
ゴール。若手コンビにして岡山国際サーキッ

トスーパーGTコースレコード樹立しての
ポールポジションの獲得、スーパーGTドラ
イバーデビューでの優勝と鮮烈デビューを
果たした平川。2年連続で開幕戦を優勝
で飾ったチームにこの日、新たなヒーロー
が誕生した。

【第2戦】 重量ハンディに苦戦するも、 ポイントリーダーを死守

静岡県・富士スピードウェイで開催さ
れた第2戦。開幕戦優勝の37号車
「KeePer TOM'S RC F」はGT500
クラスで最も重い40kgのハンディキャップ
ウエイトが大きく影響し、まさかの予選
14位から決勝レースに臨むことになった。
開幕戦同様、決勝のスタートドライバーは
カルダレツリ。2周目に1台交わすと、10
周目にはポイント獲得圏内の10番手へ浮
上。さらにセーフティカー導入を挟んで再
スタートが切られた後は8位に順位を上
げる。そして38周目に平川へハントタッ
チ。さらなる追い上げに期待が高まる。

素早いピット作業を終えてコースに復
帰した平川は、レース折り返しとなる55
周目時点で6位まで順位を上げる。しか
し以降は我慢の展開。それでも重量ハン
ディを受けてのレースであることを考えれ
ば、大きな賭けに出るよりも1点でも多
くのポイント獲得が使命。2回目のピット
作業を終え、再びハンドルを握ったカルダ
レツリは、トラブ
ルアクシデント
を避けての完走
を選択。そのま
ま走り切り6位
でフィニッシュ。
ランキングトッ
プを維持した。



2015年度スーパーGT スケジュール

第3戦	チャンインターナショナルサーキット(タイ)	公式予選 6/20(土)	決勝 6/21(日)
第4戦	富士スピードウェイ(静岡県)	公式予選 8/8(土)	決勝 8/9(日)
第5戦	鈴鹿サーキット(三重県)	公式予選 8/29(土)	決勝 8/30(日)
第6戦	スポーツランドSUGO(宮城県)	公式予選 9/19(土)	決勝 9/20(日)
第7戦	オートポリス(大分県)	公式予選 10/31(土)	決勝 11/1(日)
最終戦	ツインリンクもてぎ(栃木県)	公式予選 11/14(土)	決勝 11/15(日)

「#37 KeePer TOM'S RC F」応援 企画 第2弾

8/8(土)・9(日)スーパーGT第4戦 富士スピードウェイ(静岡県)
 観戦チケット(予選・決勝共通券)をペア20組40名様にプレゼント
※各会場の交通費は各自ご負担をお願いします。
 ※当選者の発表は、発送をもってさせていただきます。

この企画に関するお問合せは・・・KeePer技研(株) ☎0120-517-158